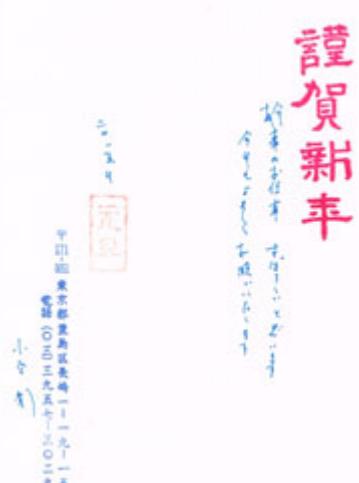


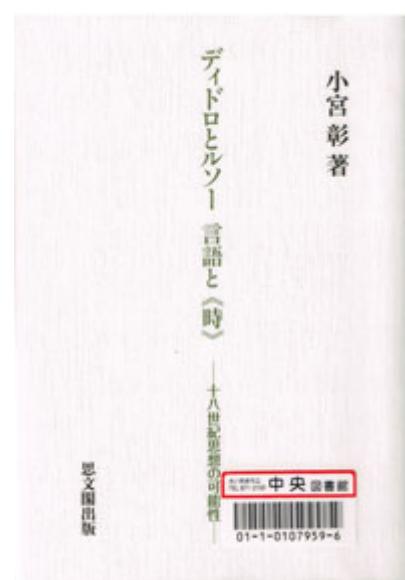
2015年の小宮くんからの年賀状

いつもは元旦に届いている小宮くんからの年賀状、今年は1月14日に届く。消印を見ると1月8日出し。どうやら郵便番号を間違えたため遅れたらしい。遅い投函も、ケアレスミスも小宮くんらしくないと感じました。きっと体調が優れなかつたためだったのでしょうね。



小宮くんの著書紹介

「ディドロとルソー 言語と“時”－十八世紀思想の可能性」
小宮 彰(著) 思文閣出版 2009/2刊
本を読んで紹介しようと思ったのですが歯が立たず。「MARC」データベースよりの引用です。
ディドロとルソーの思想はどのように形成され、どのように分岐していったのか。2人における「時」と「言語」のあり方に注目して考察。近代以降の思想がまさに生成しつつある現場として18世紀をとらえ、その様相を取り出す。



卷末の著者略歴は次の通り。

◆著者略歴◆

小宮 彰 (こみや・あきら)

1947年生まれ。東京大学人文科学研究科比較文学比較文化専攻博士課程満期退学。現在、東京女子大学文理学部教授。
主要共著に「〈啓蒙〉の知と主体の問題」(『新岩波講座「哲学」15 哲学の展開 哲学の歴史2』, 岩波書店, 1985年),
「科学テクストの文体」(『叢書比較文学比較文化6 テクストの発見』, 中央公論社, 1994年), 主要論文に「寺田寅彦の文体」(『比較文学研究』第80号, 2002年)ほか

博士課程<満期退学>? 共著や論文誌はあるようですが、単行本はこれだけのようです。